

# 水土里ネット秋田のV E L 育成の試み

## Attempts of VEL training in Midori-net Akita

加 澤 隆 昌  
Ryusho Kazawa

### 1. はじめに

県水土里ネットは公法人として農業農村整備事業の推進に一定の役割を果たしてきたところであるが、現下の公共事業の減少で受託量は急減している状況にある。

また、随意契約の見直しで一般競争入札への移行が囁かれているが、公法人という性格上、安易に参加できない状況にあり、企画提案型の受注形態を模索している。

このような状況から、企画提案にV Eを行うことを盛り込み、コスト縮減と他コンサルタントへの差別化を図るため水土里ネット秋田のV Eリーダー育成の試みについて述べる。

### 2. 企画提案型への対応

国土交通省では、公益法人等との随意契約の適正化について、平成18年6月13日付けで「随意契約見直し計画」を策定し、随意契約によることが真にやむを得ないもの以外は、遅くとも平成19年度から一般競争入札等に移行することとし、あわせて透明性・競争性を確保するための手続きとして、発注者が特定した公益法人以外の参加者の有無を確認するための公募手続きの導入を図ることとしている。

この流れは農業農村整備事業にも及ぶことは必至で、これに応募するためには、評価項目である同種業務の実績、配置予定技術者の資格・経歴のほか企画提案書が必要となり、水土里ネット秋田では提案の中に設計V Eを行うことを予定している。

### 3. 設計V Eに対する経営者の理解の醸成

V Eリーダー資格を取得するには12時間の研修が義務づけられている。その研修会開催やV Eリーダー資格取得の前に、V Eに対する経営者の理解が必要であることから、以下のような説明を行っている。

#### (1)V Eとは

V Eとは、機能（役割・働き）とコストに着目した新たな価値を創造する手法で、現状にとらわれない新技術・アイデアが開発・設計段階で創造されることより、土木建設分野でも全体設計等に広く採用されており、各分野の専門家の力を結集しプロジェクト組織で課題解決を図る手法である。具体的には、V Eの知識・方法論を正しく理解したV E Lが、

- |          |            |            |
|----------|------------|------------|
| ①課題設定スキル | ④コミュニケーション | ⑦企画プレゼンスキル |
| ②情報管理    | ⑤アイデア      |            |
| ③分析      | ⑥発想        |            |

をベースに「機能」中心に総合的な提案をする。

#### (2)国・県の動き

国・県等では、平成9年よりのコスト縮減対策を受け、より効率的な設計手法として設計V Eの活用が検討され始めた。特にコスト縮減の二次対策以降、秋田県では、平成16年から「設計V E」の試行を開始している。

### (3) 設計VEのメリット

本会は農業農村整備事業の発注者支援機関に認定されており、発注機関に対しても大きな、PR効果が期待され、設計VEを実施することによって以下のメリットが得られる。

- ・アイデア発想することで個人の技術力が向上する
- ・他分野、先端技術を吸収することができる
- ・業務を通して先輩からスムーズに技術の継承ができる
- ・発表や説明能力が向上する
- ・委託業務が企画提案型に移行した場合必須である
- ・業務をチーム編成で行うことによって効率化する
- ・プロジェクト組織での課題解決が図れる

### (4) VE基礎講座受講者の構成

水土里ネット秋田では技術系職員を年代別と、「水利・防災」「ほ場整備」「集落排水」の3工種から24名とした。なお、VEを推進していくためには各分野の協力も不可欠なため県農林水産部、県建設交通部、県建設技術センターにも参加を呼びかけ、最も効率が良いと言われる1チーム7人構成で4チームとして年令別、工種別、職種別均等になるようにし、多くの意見が出やすいようにしている。

上記の他、設計VEを理解してもらうために事例を用いて説明しているが、必ず出る意見が、「その提案なら比較設計において検討しておくべき事柄じゃないのか」というものである。これに対しては、すべての技術者が専門の高い技術力があり、かつ経済性管理、安全管理、社会環境管理、情報管理、人的資源管理のリスクマネジメント能力を持っているとは限らないからブレインストーミングで表1「ジョハリの窓」の「隠された心の窓」「気づかない心の窓」を相互に開く努力をして叡智を結集することができると説明している。

表1 ジョハリの窓

		自分自身から見て	
		わかる	わからない
他人から見て	わかる	①開放された心の窓 (Open window)	③気づかない心の窓 (Blind window)
	わからない	②隠された心の窓 (Hidden window)	④真っ暗な心の窓 (Dark window)

## 4. おわりに

VEリーダー試験は資格取得のためではないことを受験者には十分に説明し、VEの基本を習得するだけでなくすぐ実践に使えるように時間をかけて学習するようにした。そして水土里ネット秋田技術職員24名全員の合格を目指し、平成18年度は7名、平成19年度は7名が受験し、100%合格している。

県の農業農村整備の分野では、平成18年度1件、平成19年度4件の実績があり、水土里ネット秋田からもリーダーとしてやチーム員として参画し活躍している。

これからは、その経験を活かし、積極的かつ効率的に設計VEを行い、コスト縮減だけでなく、組織の維持・発展に貢献して行きたい。

参考文献 1) 小泉泰通著「土木VE実践の手引き」(山海堂)、2) 土屋裕監修産能大学VE研究グループ著「新・VEの基本」、3) 日本VE協会「VEリーダーのための実践事例集」